



## コロナから命と心を守るために

まもなくまん延防止等重点措置が解除になる見通しだった9月28日(火)、児童朝礼で「みんなの命と心を守るために ~みんなですること・みんなで守ること~」と題し、子どもたちにコロナ感染について話をしました。感染状況が落ち着いている今だからこそ、もし身近な人が感染した時、自分たちはどうすればよいのかを考えてもらいたいと思ったからです。

まずは「命を守るために」感染が確認された場合、どのように生活や行動をすればよいか伝えました。次に「心を守るために」大切なことを考えていきました。考えていくポイントは「もし自分だったら、どうか」です。子どもたちにはペアで、もし自分が感染したとして「みんなに絶対してほしくないこと」と「みんなにしてもらったら嬉しいこと」に2点について話し合ってもらいました。代表の児童2名から、してほしくないこととして「感染したことを言いふらさないでほしい。」「かかりたくてかかったわけじゃないから、悪口などを言わないでほしい。」と発表がありました。その意見に多くの子どもたちから賛同していました。

コロナに感染した人が悪いわけではないこと、もし自分だったらという想像力を働かせて、自分がしてほしくないことは絶対にしないこと、どんなことをしてあげられるか考えることで、人との繋がりをなくさないコロナに負けない木山小学校にしていこうとお話を結びました。



今後の感染状況はまだ見通せませんが、どんな時も想像力を働かせて自分や自分に繋がる人たちのためにどうすればよいか考えられる子どもになってほしいと願っています。

## 不審者対応避難訓練

10月8日(金)授業中、2年生教室に不審者が侵入したという想定で、避難訓練を行いました。不審者役は真庭警察署スクールサポーターの方が、迫真に迫る演技で務めてくださいました。2年生と隣の1年生は担任の指示のもと速やかに避難し、全校放送により不審者侵入を知った他の教室の児童もスムーズに避難することができました。私たち職員も、侵入を把握するとさすまたやスプレー剤を手に不審者と対峙。職員数人で不審者の身柄を拘束し警察官の到着を待ちましたが、その時間が大変長く感じられました。

避難を解除した後、全校児童が体育館に集合し、指導講評をお聞きしました。また、その後登下校時の防犯について考える時間をもちました。サニー団地・横部班が代表として前に出て、不審者との対応を考えました。



下校中、不審者に話しかけられてやり取りをするうち、「これは危険だ」と感じた6年生2人が自ら動いて、下級生と不審者の間に入り距離を取るようになるなど、すばらしい対応の仕方だと褒めていただきました。

警察や警察共助員の方からは、登下校時等に不審者に遭遇した時に自分の命を守るために大切なこととして、次のことを教えていただきました。

- 知らない人と話をする時は、手をのばしても触られないくらいの距離を取る。
- 危険と感じたら、大きな声を出したり防犯ブザーの音を鳴らしたりして逃げる。
- 不審者の車の向きと反対方向に逃げる。
- 日頃から、周囲の様子をよく見て通行する。
- 出会った人には、大きな声で元気よくあいさつをする。

これからは日没が早くなる時期です。登下校時だけでなく遊びに出かけた帰り道などでも、十分気をつけてもらいたいと思います。

## 第1回全校テスト

10月8日(金)第1回の全校漢字・計算テストを行いました。今回は漢字・計算ともに1学期のドリルの中から出題しました。テストに向けて、自主学習で計画的に勉強をしてきた学年や宿題プリントの中に類似問題を取り入れて取り組んだ学年など、それぞれに工夫して取り組んでいたことが、高得点者の数の多さから伺えました。

今回をスタートに、これから2学期のうちに、2週間のスパンであと4回テストを行います。全ての回で100点だった児童には、学期末に表彰を予定しています。

基礎基本の定着という目的に加え、子どもたちが自主的・計画的に学習しようとする習慣を身につける一助となればと考えています。ご家庭でも励ましのお声かけをいただけるとありがたいです。



## Google ログインについてご協力をお願いします

タブレット端末を授業で使う際、本人には覚えのないブックマークやタスクが画面上に表示されたりホームページが開いたりして、戸惑うことがあります。つきましては、タブレット端末やご家庭のパソコン等のご使用につきまして、次の点についてお願いをいたします。

- ① 児童貸与のタブレット端末やご家庭のパソコン、タブレットで Google にログインされる際、子どもたちのアカウントで入っている場合は、ブックマークを残さないようにしてください。
- ② 授業で使用するためのブックマークを消去しないようにしてください。
- ③ 児童が使わない時は、ログアウトの確認をお願いします。

大変ご面倒をおかけいたしますが、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。